

黒檜山山行報告

【山行日】2020年9月27日(日) 曇り時々晴

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、嶋田、
島田、関、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=おのこ P7:50/8:05~

黒檜山登山口 8:25~黒檜山 10:00/10:10~

駒ヶ岳 10:55/11:05~覚満淵 12:05/12:35~

おのこ P12:55/13:05=あいの山の湯 13:45/14:00

=岩舟支所 P15:30



今日は西吾妻山に登る予定だったが、台風12号が温帯低気圧に変わり北海道の東海上に停滞し、西高東低の気圧配置で日本海側の天候の山は雨の予報だった、急遽、晴れの山域を探し、赤城の黒檜山から駒ヶ岳に変更した。岩舟支所を6時に出発し、大沼湖畔のおのこ駐車場に車を止める。



準備を整え、トイレとストレッチを済ませたら出発する。大沼の東岸に沿って道路を歩き、三差路手前の右側に黒檜山登山口がある。

いきなりの急登になり、自然林の登山道を進むと尾根の上に出る。眼下には大沼や地藏岳の美しい眺望が広がる。さらに岩の多い尾根を登ると、また展望が良い場所に出て休憩をする。ここからもさらに急登が続き、勾配が緩くなると分岐に出て左に進むと黒檜山山頂に着く。山頂で記念写真を撮り、北側の尾根を少し

進むと展望が開けたビューポイントに出る。ここは谷川連峰をはじめ、上越国境の山々や燧ヶ岳、

上州武尊山等が望めるが、山頂は雲で覆われ大展望は見られなかった。それでも展望を楽しみながら休憩し、リンゴや菓子をいただきエネルギーを補給する。ここから往路を分岐まで戻り、駒ヶ岳方面へ直進すると「御黒檜大神」の祠や鳥居がある南峰に出る。さらに稜線伝いに進み、花見ヶ原キャンプ場方面への道を左に分け、駒ヶ岳方面へと直進する。急坂を下るようになり、土が雨で流され歩きにくい木の階段を注意深く下って行く。下り切った鞍部が大ダルミと呼ばれる場所で、平らな草原を気持ちよく歩ける。ここから登り返すと駒ヶ岳山頂に出るが、ここからの展望も素晴らしい。今日は雲海が広がり眼下の街並みは見えないが、小沼や長七郎山や地藏岳等が間近に望める。



駒ヶ岳を後に尾根道を進むとコースは右に曲がり、鉄製の急勾配の階段を降りて行く。その先も、



しばらく樹林帯の急坂を九十九折れに下り、再び鉄の階段を下ると勾配が緩くなり、まもなく舗装道路に出る。道路を渡って左に進み、公衆トイレに寄ってから覚満淵に向かう。道路を渡り返し、覚満淵入口からシカ避けネットを抜け、淵の南側の木道を通り途中のベンチでランチタイムとする。温かいキノコうどんに天ぷらを載せ、ゴボウのしぐれ煮や花豆、厚揚げの煮つけなど並び賑やかなランチとなった。お腹いっぱいになって出発すると、鳥居峠へ

の分岐で雨が落ちてきた。空を見上げると、これから向かう小沼の上に黒い雲が掛かっている。急遽予定を変更し、小沼に向かわずに覚満淵の北側を廻り、おのこ駐車場に向かった。覚満淵入口から道路に出て、右に道路を進むと10分程で駐車場に戻る。1時間以上短縮となったが、靴を履き替えトイレを済ませあいのやまの湯の直売所に向かう。雨は一時的なもので直ぐに晴れてきたが、あいのやまの湯へ向かう道路から赤城山を見ると、山頂は黒い雲の中で見えなくなっていた。あいのやまの湯の直売所で野菜やお花をゲットし、岩舟支所へ1時間30分早く帰着出来た。

